

JCI プレキャストコンクリート製品の性能設計と利用研究委員会
WG2（構造物評価） 第5回 WG 議事録（案）

開催日 2010年7月15日（木） 13:30～16:30

場 所 JCI 会議室

出席者 石川雅美、小野里憲一、川上 洵、梅村靖弘、松山哲也、伊藤 始、
西本好克、上原子晶久、岡本 大、松岡 智、星田典行

記録者 星田典行

資 料 WG2-5-1 JCI_PCa 委員会 WG2 第4回 WG 議事録（案）
WG2-5-2 JCI・プレキャスト委員会・WG2「3. 1 土木構造物施工事例」の執筆
WG2-5-3 鉄道構造物のプレキャスト構造に関する文献調査結果
WG2-5-4 PCa 柱の2次元非線形有限要素解析(10/07/15JCI PCa 委員会)
WG2-5-5 プレキャストコンクリートの設計に関する基準類の設計・施工上の留意点
WG2-5-6 コンクリート工学および建築技術に掲載された PCa 記事

議事

1. 議事録の確認

資料 WG2-5-1 の確認が行われ、内容が承認された。

2. WG1 のスケジュール説明（松山幹事）

2月末までに、ページの揃った報告書を固めたい。

3. PCa 柱の2次元非線形有限要素解析の解析結果

上原子委員より、資料 WG2-5-4 に基づき、機械式継手を用いた PCa 柱部材の前回からの継続解析結果について報告された。

前回までに実施したプッシュオーバー解析結果を踏まえて、今回、正負交番载荷を実施した。本解析では、1 サイクルのみと 3 サイクルの载荷のそれぞれを実施した。解析結果より 1 サイクルと 3 サイクル繰返し载荷で終局状態に差が見られた。今後、実験と同様の繰返し载荷の解析を実施する。

次回、ビジュアル的に解析結果を見せて頂く。

4. プレキャストコンクリートの設計に関する基準類の設計・施工上の留意点

小野里委員より、資料 WG2-5-5 に基づき、建築部材のプレキャストコンクリートの設計・施工上の留意点について説明された。

W-PC 工法・WR-PC 工法は既に出来上がっており特に留意点はない。今回扱う PCa 工法は R-PC 工法とする。一般の準拠指針の他に「場所打ち同等型プレキャスト鉄筋コンクリート構造設計指針（案）・同解説(2002)」・プレキャスト建築技術集大成「第4編場所打ち同等型 R-PC 構造設計指針」により設計が可能である。

一般の鉄筋コンクリート造と違う点について、接合部の設計・構造設計方針および施工における瑕疵・不具合の例として機械式接合部の帯筋の被り不足事例について説明された。

・上記の内容を解かりやすいように執筆をお願いした。

5. コンクリート工学および建築技術に掲載された PCa 記事一覧表

小野里委員より、資料 WG2-5-6 によりコンクリート工学では特定の建物での PCa の記事、建築技術では PCa 工法についての記事の紹介があり、これらの中からピックアップしてはどうか。PCa 工法について BCS の施工部会に紹介記事を依頼する。

（中根委員・西本委員・小野里委員）

6. 鉄道構造物のプレキャスト構造に関する文献調査結果

岡本委員より、資料 WG2-5-3 について文献紹介がされた。

7. 「土木構造物施工事例」の執筆について

伊藤委員より資料 WG2-5-2 について説明された。

・執筆担当メンバー・掲載予定の事例・記載項目・追加すべきこと、検討すべきことについて説明され以下の事項について協議した。

- ・ 鉄道構造物の事例記事について、伊藤委員がまとめられた表の事例を掲載する。
- ・ 星取り表について、フォーマットが決まり次第服部氏に執筆をお願いする。
- ・ 文献調査のリストを作る。
- ・ 構造物をどのように広げるか。
- ・ 下水道用ボックスカルバートの耐震継手工法の紹介（メーカー委員により協議）
- ・ 港湾構造物の事例（石川幹事・伊藤委員 調査）
- ・ 継ぎ手に特徴のある事例を紹介しては。

8. 今後の予定

今後の予定は、以下の通りである。

- 1) 第5回全体委員会 : 8月3日(火) 15:00~18:00
- 2) WG1 : 9月22日(水) 14:00~17:00 (SWG 13:30~14:00)
- 3) WG2 : 月 日 () ◎

以上